



# 子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2018年1月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081  
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



新しい年を迎えました。今年は活動10周年の記念の年となります。  
事務局として、節目の年にふさわしい活動をご提案したいと思います。  
今年も、よろしくお願い申し上げます。

写真は、岩手県山田町「しいたけの森」に植え替えられた“どんぐり”の苗木です。  
ちゃんと育っています。

## (目次)

1. JP子どもの森づくり運動2018
2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート  
～東北の苗木を動物の食害から守るフェンスづくり～
3. 事務局からのお知らせ
  - 新・どんぐり博士の育苗講座 (2018年1月号)

### ■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

### ■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
- ・特別協賛：日本郵政グループ
- ・後援/協力
 

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



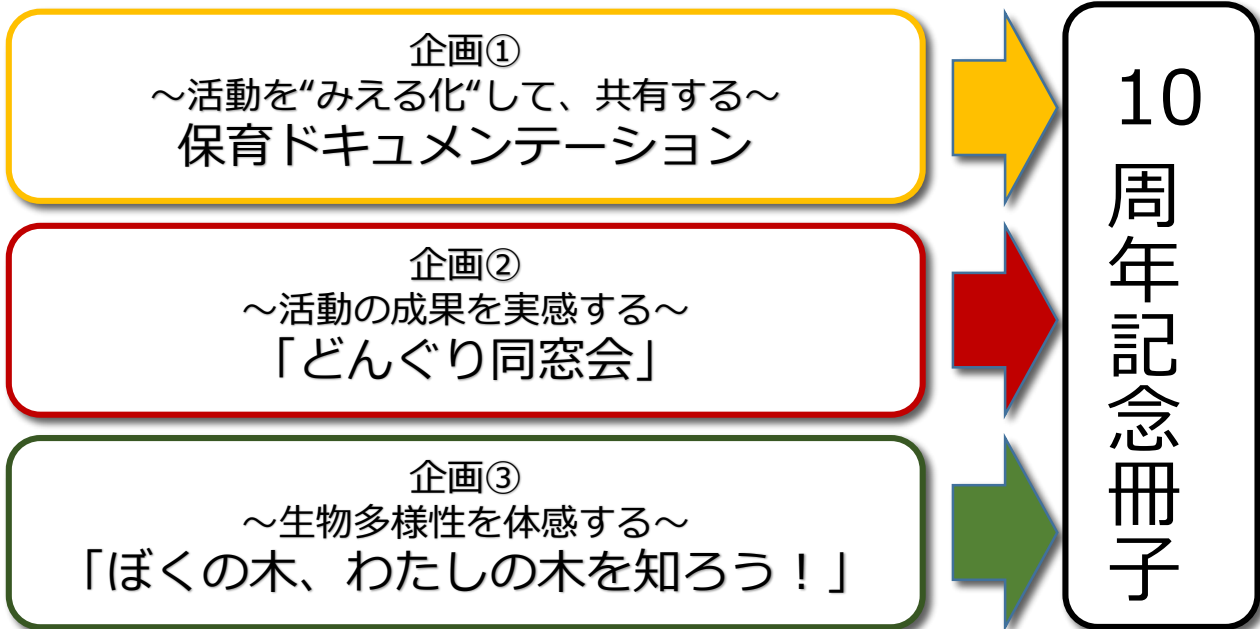
## 1. JP子どもの森づくり運動2018

新しい年を迎えました。今年もよろしくお願い申し上げます。

今、グローバルな時代にもっとも求められる、**生きる力（生き抜く力）**としての「**非認知的能力**」を育む活動として、世界的に幼児（少）期の自然体験活動への関心が高まっています。そんな中、森づくり活動を通じて幼児（少）期の子どもたちに自然と環境の体験を提供、子どもたちの「生きる力」と「環境心」を育むことを目指す**JP子どもの森づくり運動**（以下、運動）が、今年、10周年の節目の年を迎えます。世界的な自然保育の機運の盛り上りを背景に、運動における社会的意義も、今後ますます大きくなるものと思われ、これからも活動を積極的に展開してまいります。引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。以下、2018年の活動趣旨・目的について、事務局からの提案です。共に推進している活動です。皆様からの積極的なご意見、ご提案をお待ち申し上げます。

### <2018年活動趣・目的>

1) 運動の10年間の活動を共にふり返り、検証し、あらためて幼児（少）期の自然と環境の体験活動、そして子どもの森づくり運動の意義を再確認し、これからの活動について考えます。それを実践するプログラムとして「**10周年企画**」としての三つの活動を推進します。



2) 10年間の活動事例を基盤として、**保育の現場で本当に役立つオリジナル自然体験プログラム集**を作成し、参加園に提供します。プログラムは、参加園におけるシミュレーションを重ねてブラッシュアップされます。

3) 節目の年として、**参加園の交流事業**を積極的に実施します。（以下予定につき、変更があり得ます。）

2月：全国集会&研修会2018（福岡大会）の開催

8月：「オツナワ2018」キャンプの開催

10月：「富良野自然塾」環境プログラム体験ツアーの実施

12月：「10周年企画」作品展の開催（「エコプロ2018」企画）

\* その他、ブロック別の環境学習、及び防災研修会を開催

4) 「東北復興グリーンウェイブ」を含む、継続的な活動を積極的に推進します。

## 2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート～東北の苗木を動物の食害から守るフェンスづくり～

「東北復興グリーンウェイブ」で岩手県山田町に植えられている東北の“どんぐり”の苗木が、鹿やウサギの食害にあっているという報告が届きましたので、有志を募り、食害防止のフェンスづくりに挑戦しました。寒い中、みんな頑張って、立派なフェンスが完成しました。これで、もう大丈夫。今年も、春には全国から東北の“どんぐり”の苗木が届きます。活動にご共感いただき、お忙しい中フェンスづくりにご参加いただいた方々、本当にありがとうございました。（\*詳細は、ホームページにて紹介しております。）

- ・日時：2018年1月20日（土） ・場所：岩手県山田町豊間根「東北復興グリーンウェイブ」苗畑
- ・参加者：社会福祉法人三心会「男心会」 保護者会：昆さん、高橋さん、小沼森林インストラクター（秋田県）  
サポーター：佐々木さん（山田町）、住谷さんご夫婦（茨木県）、事務局スタッフ  
スペシャルサポーター：栗田宏武さん（千葉県 / チェンソーカービング世界チャンピオン）



苗畑の多くの苗木が  
食べられていました。



気温は、マイナス5度。  
土が凍っているので、バーナーで  
溶かして穴を開けます。



その穴に、支柱を打ち込みます。



保護者会の高橋さんは、  
親子で参加



ネットを張ります。



ネットの下をペグで押さえます。



完成



記念撮影



終了後、バーベキューを  
ご馳走になりました。

### 3. 事務局からのお知らせ：「全国集会&研修会2018」（福岡大会）参加者募集

年に一度、全国の参加園や保育関係者が集い、幼児（少）期の自然体験と環境学習活動について考える「JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2018（福岡大会）」」が下記の内容で開催されます。今回は、活動10周年記念として福岡県北九州市での開催となります。節目の大会です。できるだけ多くの方々にお集まりいただき、今後の活動について協議できればと思っています。まだ少々、会場に余裕があります。皆様のご参加をお待ち申し上げます。参加ご希望の方は、事務局までお申し込み下さい。詳細は、ホームページでご案内しております。

#### <開催概要>

○日時：2018年2月15日（木）、16日（金）

○会場：「ホテルニュータガワKOKURA」福岡県北九州市小倉北区古船場町3番46号

○主催：JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2018」福岡大会実行委員会（幹事園：若久青い鳥保育園）

○共催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク ○特別協賛：日本郵政グループ

○後援：公益社団法人福岡県保育協会

○協力：(公社)全国私立保育園連盟 (公社)大谷保育協会 保育環境研究所ギビングツリー、他

○募集対象者（数）：保育園 幼稚園 こども園職員 保育団体関係者（約50名）

○主な内容、及び講師名

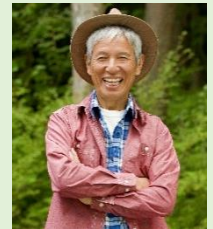
・記念講演：「自然体験活動が子どもに育むこと」 河口湖自然楽校 校長 タレント 清水国明氏

・基調講演：「自然保育が育む人生の根っこ」 ～信州型自然保育認定制度の理念と展望～  
長野県 次世代サポート課 竹内延彦氏

・幼児の自然体験講座：「ネイチャーゲーム入門」 飯田女子短大 幼児教育科講師 田中住幸氏

・防災講演：「熊本地震を体験して」 菊地さくら保育園 園長 本藤 潔氏

・防災講座：「本当に子どもの命を助けるために」 (株) タフ・ジャパン 代表 消防庁アドバイザー 鎌田修広氏



#### ●新・どんぐり博士の育苗講座(2018年1月号) ～どんぐりの木②続コナラ～

前号でコナラは陽樹の性質を持つ木であることを述べました。今号ではこのことが、木が無くなってしまった、開けた土地での森づくりに、コナラの苗が適していることを説明したいと思います。子森ネット「どんぐり博士」：河内和男（森林インストラクター）



木の無い開けた土地は多くの場合日当たりが良いです。その光を受けまず初めに成長してくるのが、あっという間に成長する草です。いわゆる雑草です。人があまり立ち入らない場所なら、雑草の間で光を奪い合う競争となり、セイタカアワダチソウやススキなどの背丈のある草類に一面がおおわれることとなります。

このような場所を森に代えていくためには、光を得る競争で、草たちに勝つ可能性を持った木が最初に育たなければなりません。つまり、強い光を好み生長が早い陽樹の性質を持つ木々です。それらが草たちとの競争に勝ち、草の頭上に葉を茂らせば、繁殖力が強く背の高い草は生育に必要な光が得られず、次第に減っていきます。そうすると、弱い光の中でゆっくり時間をかけて生長していく木々が育つことができるようになります。この性質を持つ木々のことを陰樹（いんじゅ）と呼びます。陰樹の性質を持つ木は、カシ類やタブ、ブナなどです。

自然災害などでできた空き地が、草原→陽樹の森→陽樹と陰樹の混じり合った森と変化して森が形成されることは、多くの研究で確認されており、このことを遷移と呼びます。つまり、コナラなどのどんぐりの苗を植樹して森づくりをすることは、この自然の遷移の流れに沿ったものなのです。また、人為的にコナラやクヌギなどを植樹した後、人が下草や柴、さらに大きくなった木を伐採して利用する事でできた森が、里山の森です。

陽樹であるどんぐりの苗を植え付けることが、いろいろな森のスタートであることをご理解いただけましたでしょうか？